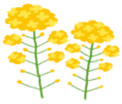
成人図書室だより　３月号

京都市中央図書館成人図書室　２０１８年３月１日　発行

京都には，古くから続く伝統行事が数多く受け継がれています。
今年は，そんな京都ならではの行事を月ごとに紹介します。

京都の年中行事　弥生



京都関連の本は，参考図書室に多数所蔵しています。

流し雛（ながしびな）　下鴨神社（3日）

古来中国では，身の穢れを移した紙人形を川に流す「上巳（じょうし）の祓い」という習わしがありました。この上巳の祓いと，平安時代に宮中で行われていた「ひいな遊び」が混合し，「流し雛」という行事になりました。

この日，下鴨神社では，境内を流れる御手洗川に紙

京都・東山花灯路（きょうと・ひがしやまはなとうろ）（9～18日）

北は青蓮院から，南は清水寺まで，東山一帯の散策路を灯りと花で彩ります。周辺の寺院や神社でライトアップや特別拝観が行われる他，舞踊の披露などもあり，古都の宵に華やぎを添え

雨乞祭（あまごいまつり）　貴船神社（9日）

貴船神社は鴨川の水源地にあたることから，平安時代より水を司る神として崇敬を集めてきました。雨乞祭では，水の恵みと五穀豊穣を願い，神職が鈴や太鼓を鳴らします。この雨乞祭を終えるとまもなく，貴船に春が訪れ京都の街に水の

青龍会（せいりゅうえ）～観音加持（かんのんかじ）～　清水寺（14・15日）

平安京遷都の際，神が東西南北を守護する四神相応の地とされた京都。清水寺は，その東の神，青龍が司る地に位置するとされています。春と秋に行われる青龍会ー観音加持ーでは，清水寺や青龍にまつわるさまざまな神に扮して，青龍を掲げて

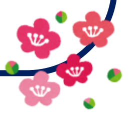
嵯峨お松明（さがたいまつ）・嵯峨大念仏狂言（さがだいねんぶつきょうげん）　清凉寺（15日）

涅槃会が行われるこの日，あたりが夕闇に包まれると，松明式が行われ，３本の大松明が燃え上がります。これは釈迦の荼毘をあらわすと伝えられ，稲作の出来を占う儀式としても行われています。

はねず踊り　随心院（25日）

梅園前の舞台で少女たちが披露する「はねず踊り」は，小野小町に思いを寄せて百夜通いを試みるも，成就しなかった深草少将の悲恋がモチーフとなっています。

晩年の小野小町は，はねずの梅がきれいな花を咲かせる頃，里の子ども達と一緒に踊ったといいます。そんな小野小町に思いを馳せ，舞踊と梅を観賞しましょう。



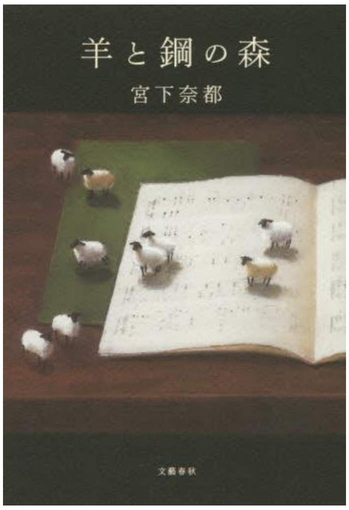
【参考資料】

「京暦（きょうごよみ）365日」　らくたび/著　コトコト　（386.1/キ）
「京都12ヵ月 年中行事を楽しむ」　若村亮＋らくたび/著　ダイヤモンド社　（386.1/キ）
「3月の京都」　淡交社編集局/編　淡交社　（291.62/サ）

～３月のテーマ展示から～

年度の締めくくりとして，成人図書室の平成２９年によく読まれた本と，過去 5 年間(2013～2017 年)のベストリーダーを紹介します。

「成人図書室　ベストリーダー2017」



羊と鋼の森

宮下　奈都／著
文藝春秋　　2015年

ゆるされている。世界と調和している。それがどんなに素晴らしいことか。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が，調律師として，人として成長する姿を，温かく静謐な筆致で綴っています。

リバース

湊　かなえ／著
講談社　　2015年

平凡なサラリーマン，深瀬和久の趣味はコーヒーを飲むこと。その縁で，美穂子という彼女もでき，人生に彩りが添えられると思った。だが，「深瀬和久は人殺しだ」と書かれた告発文が送りつけられ…。

６４（ロクヨン）

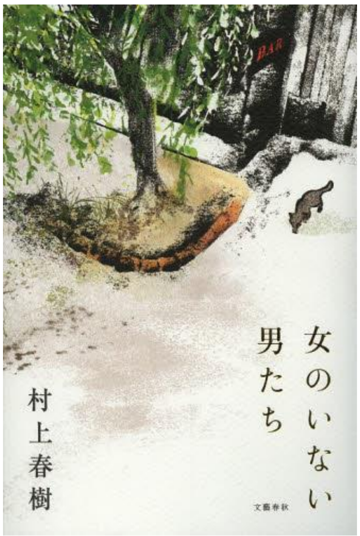
横山　秀夫／著
文藝春秋　　2012年

昭和 64 年に起きたＤ県警史上最悪の翔子ちゃん誘拐殺人事件をめぐり，刑事部と警務部が全面戦争に突入。その狭間に落ちた広報官・三上義信は己の真を問われる。長篇警察小説。

嫌われる勇気

岸見　一郎／著
古賀　史健／著
ダイヤモンド社　　2013年

どうすれば人は幸せに生きることができるかという哲学的な問いに，きわめてシンプルかつ具体的な答えを提示する「アルフレッド・アドラーの思想（アドラー心理学）」について，青年と哲人の対話形式を用いてまとめています。



女のいない男たち

村上　春樹／著
文藝春秋　　2014年

舞台俳優・家福は女性ドライバーみさきを雇う。死んだ妻について，彼はみさきに少しずつ語り始めた…。『文藝春秋』掲載の「ドライブ・マイ・カー」ほか，書きおろしの表題作などを加えた全６編の短編を収録しています。

海の見える理髪店

荻原　浩／著
集英社　　2016年

ある想いを胸に秘め，古い理髪店を訪ねた「僕」と店主が交わす特別な時間。急逝した娘に代わり成人式に替え玉出席すべく奮闘する夫婦…。永遠のようで儚い家族の日々を描いています。

テーマ図書は，カウンター横の書棚に多数展示しています。
お探しの図書が見当たらない場合は，お気軽に窓口まで
おたずねください。

2018年3月　読書の記録

日付	書　名	著者名	メ　モ

「明治１５０年」関連図書特別展示

■開催期間：平成３０年３月１日（木曜日）～３月３１日（土曜日）
■開催場所：中央図書館２階

平成３０年は，明治改元１５０年という記念の年です。
中央図書館では，明治に関する本の展示や，
明治の京都の写真のパネル展示，明治の教科書の展示を
行います。ぜひご覧ください！

京都市中央図書館

〒６０４－８４０１　京都市中京区聚楽廻松下町９番地の２
☎０７５（８０２）３１３３

■開館時間
平日：９時３０分から２０時３０分まで（児童図書室は１７時まで）
土日祝日：９時３０分から１７時まで

■休館日
毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始